



学校だより

平成 25 (2013) 年 5 月 11 日

カンタベリー日本語補習校

校長 古川 明

《祝 第 16 回小・中学部入学式が行われました》

アイラム校正門前の大きな木も葉を落とし、秋の深まりを感じる季節となりました。

5 月 4 日 (土) 午後 1 時より、アイラム校ホールで第 16 回小・中学部入学式が行われました。小学部 1 年生 39 名、中学部 1 年生 12 名の合計 51 名の子どもたちが、入学式に臨みました。出席した子どもたちは、校長先生の言葉や来賓の皆様のお祝いの言葉を、姿勢を正し、心を新たにしておりました。



小学部 1 年生の子どもたちは、初めて学校教育を受けることになり、集団生活をするうえでのルールやマナーを学ぶ場でもあります。特に、①人の話をしっかり聞ける子 ②あいさつや返事がしっかりできる子 ③外で元気に遊ぶ子 を大切にしながら指導を行なっています。

中学部 1 年生の子どもたちは、学習内容が難しくなりますが、補習校へ通う目的意識をしっかり持ち、宿題は積極的に取り組み、友達とともに学び合う喜びを味わい、補習校での 3 年間で充実させて欲しいと思います。

補習校は補習校の役割を、家庭は家庭の役割を再確認しながら、それぞれしっかり役割を果たしていくことが、子どもたちをより良く成長させていくことになると思います。

新年度が始まりました。この 1 年間、よろしくお願いいたします。

《今年度補習校教育の基本方針について》

学校教育目標と重点目標は、次の通りです。

【学校教育目標】・・・「学び合う喜び、高め合う喜びを身につけた、心豊かな児童・生徒の育成」

【重点目標】・・・①教科書を基にしながら基礎・基本的な知識、技能の習得と学習方法の習得・活用を推進します。

②学級経営を充実させ望ましい学級集団づくりを実践します。

③児童・生徒会活動や補習校行事で日本の学校文化を体験させ、目的意識をもった思いやりのある子どもを育てます。

補習校当初の役割は、海外に生活していた子どもたちが日本へ帰国した際、子どもたちが日本の学校で行われている学習内容や個性を尊重した集団教育等にすみやかに適応できるよう、日本の学校文化を体験させながら教育を行って来ました。しかし、近年の保護者向け意向調査によりますと、「今後、日本へ帰国して日本で生活する予定がありません。」と回答されている保護者は、全保護者の過半数を超えています。世界各地にある補習校の現状は、本校と同じ傾向を示しています。

補習校としての役割は、日本語力の習得と活用、そして日本の学校文化を体験させながら日本語で考え、判断

し、表現する力を育成することが、補習校の基本方針に求められていると考えています。

そのため、今年度も引き続き、子どもたちに基礎・基本的な知識、技能の習得を図るとともに、学習の仕方や学び方についての指導を子どもの実態に応じて丁寧に行います。学習意欲が高まることで自ら進んで課題に取り組み、課題解決の方法や自らの考えを深めることで、積極的に発表、表現を行うようになります。子どもたちの伸びようとする意欲を、認め、ほめ、励ましなが、丁寧に指導していきます。

また、学齢が上に進むに従って、各家庭環境の違いが日本語の教育環境に違いをもたらし、日本語の読解力や作文力、あるいは日本語で考え、表現する力が思うように定着しないことで、日本語の学習意欲を低下させる現象が生じています。

そこで、保護者の皆様とよくご相談し、学校の真意をよくご理解いただいたうえで、子どもによっては学習意欲を考慮しながら宿題の内容や量に違いが出ることもあります。このことは、子どもの学習意欲と日本語の習得に大きな違いがあるため、学校としてその子に合わせた対応が必要と考えるためです。

さらに、様々な体験や学校行事を通して、集団の中で友だちと楽しく日本語を学ぶことが、子どもの学習意欲を高め、思考力、判断力、表現力を広げ、深めることにつながります。本年度も、児童・生徒会の活動や補習校行事について丁寧に取り組み、子どもたちの自主・自立の心を育て、自治的力を養うことで、個性の尊重を図りながら集団教育を通して、集団でのルールやマナーを指導します。

子どもの成長は十人十色で違いがあり、日本語の理解の速さと習得に時間差が生じるのはやむを得ないと思います。日本語の学習は、子ども本人のたゆまぬ努力と継続、さらに周りの人達による「認め、ほめ、励ます」言葉かけと愛情のある教育環境づくりが、時間がかかっても日本語を習得する最善の道であると思います。

そして、子どもたちの健やかな成長にとっては、保護者の皆様と日本人コミュニティの皆様、補習校の三者が密接に連携を図ることが大切です。そのためにも教育相談の時間を確保し、学校組織として対応ができるよう取り組んでまいります。子どもたちのことで気がかりなことがありましたら、気軽に相談ができる補習校づくりを目指していきます。

保護者の皆様には、補習校の基本方針にご理解とご協力をいただき、子どもたちがより良く日本語を習得、活用し、日本語で考え、判断、表現できる力を身に付け、心豊かな子どもたちとして成長できるよう指導に努めていきます。

平成25年度第1回学校評価アンケートを実施します

【学校評価の目的】

- ・学校の教育活動は、計画・実行・評価が連続性の中で組織的に行われており、指導の改善に積極的に生かすため。
- ・教育目標、教育計画等の実施状況や課題について保護者、日本人コミュニティに公表すると共に、保護者、日本人コミュニティの願いや意見を学校の教育活動に生かし相互の連携・協力を促進するため。

【実施時期と方法】

- ・5月11日（土）～5月18日（土）の間で行います。締め切りは5月18日（土）です。
- ・補習校メールを各家庭に一斉配信しますので、オンラインフォームよりご回答ください。

* 学校評価を上記のように実施しますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。